

9・26 シンポジウム

施行 10 年の介護保険の現状と課題

医療保険と介護保険同時改訂に向けて

主催：地域医療研究会

日時 2010年9月26日(日) 13:00開演 開場 12:30
 場所 全国町村会館(ホール) 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-35
 電話番号 03-3581-0482 (全国町村会総務部)・03-3581-0471 (フロント)
 参加費 資料代として500円 先着順定数150名

プログラム

13:00 開会挨拶
 13:10 講演 理念と現実 (市長としての経験を踏まえて)
 演者 前高浜市長 森 貞述
 14:00 シンポジウム 現場の実状と提言
 シンポジスト
 患者の立場から 合江みゆき (認知症の人と家族の会 千葉県支部)
 業者・ケアマネージャー 松村 勝人 (ヘルパー・元武蔵野市議会議員)
 行政の担当者 佐藤博 (秋田県湯沢市福祉保健部 福祉施設法人化推進室 室長)
 国の立場 厚労省老健局老人保健課長補佐 大竹輝臣
 医療と介護 (認定問題を含む) 安藤親男 (リバーサイドクリニック院長)
 コーディネーター
 和田忠志 (第12回日本在宅医学会大会長) 医療法人財団千葉健愛会理事長
 16:30 終了

介護保険法施行から10年が過ぎました。2010年4月時点で約8兆円が費やされています。巷間、介護保険が使いにくい、サービスの量が足りない、手続きが煩雑だなどの声が聞こえてきております。

2011年には介護保険法改正、2012年から介護報酬・診療報酬が同時に改訂となります。

そこで、施行10年の介護保険の現状と課題と銘打ち(できるだけ現場の声を目標に)シンポジウムを企画しました。

介護保険ができる前から介護保険法の推進を積極的に進めた、高浜前市長の森さんに、自己の理念(理想)と現実について真摯に語ってまいります。

シンポジストにはそれぞれの経験を踏まえて、今の介護保険の現状を語ってもらい、永続可能な介護保険にするために提言をお願いしています。

地下鉄
 有楽町線・南北線・半蔵門線
 永田町駅出口3番徒歩1分



PanoramaVR、Photoのボタンをクリックしていただくと、周辺の映像や画像がご覧いただけます。